2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　日和産業株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　2055　URL　https://www.nichiwasangyo.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　取締役社長　　（氏名）　中橋　太一郎
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理本部長・総務部長　（氏名）　安井　秀夫　　TEL　078-811-1221

半期報告書提出予定日　　2026年11月10日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	23,429	5.3	757	40.5	810	45.6	576	43.0
2026年３月期中間期	22,243	△9.3	538	9.0	556	2.1	403	1.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　900百万円（　35.9%）　2026年３月期中間期　662百万円（ 175.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	31.83	―
2026年３月期中間期	22.26	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	32,388	19,830	61.2
2026年３月期	30,816	19,039	61.8

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　19,830百万円　　2026年３月期　19,039百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	6.00	6.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	6.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	9.7	500	△65.7	500	△65.3	300	△20.8	16.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　詳細は、添付資料Ｐ．６「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧下さい。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	20,830,825株	2026年３月期	20,830,825株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,719,032株	2026年３月期	2,719,032株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	18,111,793株	2026年３月期中間期	18,111,793株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料Ｐ．２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 4
中間連結損益計算書 …… 4
中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にありますが、物価上昇による実質賃金の伸び悩みに加え、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや金利動向による景気の下押しが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

配合飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこしの価格は、米国での作付が順調なことから一時下落しましたが、原油価格の影響による運送コストの高騰やエタノール需要の増加から上昇しております。副原料である大豆粕も、とうもろこしと同様に原油価格の高騰から価格は上昇しております。外国為替相場におきましては、日米金利格差や中東情勢により円安で推移しております。

畜産物市況におきましては、鶏卵相場は、昨年度の鳥インフルエンザによる供給量の不足から高値で推移しております。鶏肉相場も、去年並みの高値で推移しております。豚肉相場は、５月には需要増の影響から一時高騰しましたが、６月以降は下落し、軟調に推移しました。牛肉相場は、ほぼ横ばいの推移となりました。

このような状況のなか、当社は2026年４月と７月に配合飼料価格の値上げを行いました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は234億29百万円（前年同期比5.3％増）となりました。利益面におきましては、営業利益は７億57百万円（前年同期比40.5％増）となり、経常利益は８億10百万円（前年同期比45.6％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は５億76百万円（前年同期比43.0％増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

飼料事業

期首からの値上げの影響から売上高は224億46百万円（前年同期比5.2％増）となり、セグメント利益（営業利益）は７億７百万円（前年同期比44.0％増）となりました。

畜産事業

売上高は９億82百万円（前年同期比7.7％増）となり、セグメント利益（営業利益）は70百万円（前年同期比4.2％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産の部）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億71百万円増加し、323億88百万円となりました。これは、主に現金及び預金が４億77百万円、原材料及び貯蔵品が５億75百万円、長期貸付金が２億92百万円増加したことによるものです。

（負債の部）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ７億80百万円増加し、125億57百万円となりました。これは、主に長期借入金が99百万円減少しましたが、買掛金が７億20百万円、未払法人税等が１億59百万円増加したことによるものです。

（純資産の部）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ７億91百万円増加し、198億30百万円となりました。これは、主に利益剰余金が４億67百万円、その他有価証券評価差額金が３億26百万円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月12日に公表した連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,390	9,867
受取手形及び売掛金	10,304	10,300
電子記録債権	1,060	1,043
商品及び製品	140	129
仕掛品	384	428
原材料及び貯蔵品	2,258	2,834
その他	724	832
貸倒引当金	△213	△228
流動資産合計	24,050	25,208
固定資産		
有形固定資産	4,016	3,843
無形固定資産	17	16
投資その他の資産		
長期貸付金	756	1,048
破産更生債権等	1,243	1,090
その他	2,096	2,335
貸倒引当金	△1,364	△1,154
投資その他の資産合計	2,731	3,319
固定資産合計	6,765	7,180
資産合計	30,816	32,388
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,822	6,543
短期借入金	3,379	3,379
未払法人税等	93	253
賞与引当金	92	93
その他	952	803
流動負債合計	10,340	11,072
固定負債		
長期借入金	783	683
長期未払金	73	73
繰延税金負債	459	606
退職給付に係る負債	20	21
資産除去債務	100	100
固定負債合計	1,436	1,484
負債合計	11,777	12,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,011	2,011
資本剰余金	1,904	1,904
利益剰余金	14,817	15,285
自己株式	△722	△722
株主資本合計	18,011	18,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,028	1,354
繰延ヘッジ損益	0	△3
その他の包括利益累計額合計	1,028	1,351
純資産合計	19,039	19,830
負債純資産合計	30,816	32,388

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	22,243	23,429
売上原価	20,397	21,375
売上総利益	1,845	2,053
販売費及び一般管理費	1,306	1,296
営業利益	538	757
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	18	20
受取保険金	5	1
売電収入	30	26
為替差益	22	24
その他	30	39
営業外収益合計	116	124
営業外費用		
支払利息	35	42
支払手数料	16	13
売電費用	9	14
固定資産除却損	30	0
その他	7	1
営業外費用合計	99	71
経常利益	556	810
税金等調整前中間純利益	556	810
法人税等	153	234
中間純利益	403	576
親会社株主に帰属する中間純利益	403	576

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	403	576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	326
繰延ヘッジ損益	10	△3
その他の包括利益合計	258	323
中間包括利益	662	900
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	662	900
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額（百万円）（注１）	中間連結損益計算書計上額（百万円）（注２）
	飼料事業（百万円）	畜産事業（百万円）	計（百万円）		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	21,331	911	22,243	―	22,243
外部顧客への売上高	21,331	911	22,243	―	22,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	428	119	548	△548	―
計	21,760	1,031	22,791	△548	22,243
セグメント利益	491	67	558	△19	538

（注）１　セグメント利益の調整額△19百万円には各報告セグメントへ配賦していない費用（管理部門に係る費用等）25百万円が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額（百万円）（注１）	中間連結損益計算書計上額（百万円）（注２）
	飼料事業（百万円）	畜産事業（百万円）	計（百万円）		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	22,446	982	23,429	―	23,429
外部顧客への売上高	22,446	982	23,429	―	23,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	461	106	567	△567	―
計	22,907	1,088	23,996	△567	23,429
セグメント利益	707	70	777	△19	757

（注）１　セグメント利益の調整額△19百万円には各報告セグメントへ配賦していない費用（管理部門に係る費用等）17百万円が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。